

JCI プレキャストコンクリート製品の性能設計と利用研究委員会 (JCI-TC-093A)

第1回全体委員会 議事録 (案)

開催日 2009年6月30日(火) 15:30～17:30

場 所 JCI 会議室

出席者 久田 真、中田善久、國府勝郎、石川雅美、小野里憲一、松山哲也、
(敬称略) 星田典行、松岡 智、北辻政文、入江正明、新村 亮、西本好克、中根 博、
金子 修、湯浅憲人、中山壮一郎、梅村靖弘、服部敦志、香取慶一、伊藤 始

記録者 伊藤 始

資 料 全 1-0 第1回全体委員会 議事次第
全 1-1 研究委員会・研究課題申込書 (平成21年度)
全 1-2 委員名簿
全 1-3-1 委員会報告「プレキャストコンクリート製品の設計と利用研究委員会」
全 1-3-2 パネル原稿「プレキャストコンクリート製品の設計と利用研究委員会」
全 1-3-3 報告書 (1章、2章)
全 1-3-4 報告書 (全章)
全 1-3-5 報告会・シンポジウムの会告
全 1-4 プレキャストコンクリート製品の種類 (JIS A 5361)
全 1-5 WG1: PCa 製品設計 WG の活動方針メモ
全 1-6 構造物 WG 概略方針
全 1-7 東急建設 H.P. 「PCa 構築工法により鉄道ラーメン高架橋を営業線直上で施工」

議事

1. 委員長挨拶、趣旨説明

久田委員長より、第1回全体委員会開催にあたって挨拶ならびに資料 1-1 に基づく趣旨説明が行われた。

2. 委員自己紹介

各委員の自己紹介が行われた。また、資料 1-2 の記載漏れの確認・修正が行われた。

3. 話題提供

(1) 旧委員会 (TC-071A) の成果概要

北辻委員より、資料 1-3-1～資料 1-3-5 に基づき報告書の概要、JCI 年次大会での委員会報告・パネル展示、報告会の会告などについて報告された。

- 1) JCI 年次大会では、パネルの前に委員会報告 100 部程度を置くこととなった。
- 2) 委員会報告書に誤りが散見されるため、各委員で見直し、事務局に報告することとなった。
- 3) 報告会への参加者が少ないため、募集の呼びかけを行うこととなった。

(2) JIS 協議会の活動状況

國府幹事より、スライドを用いて、JIS 協議会での PCa 製品の標準化や性能照査型設計法試案などについて説明があった。

- 1) 曲げひび割れ発生時の応力分布について検討の余地があることが報告された。
- 2) JIS 協議会での検討内容を WG1 の性能照査型設計の検討で参考にすることとなった。

4. WG の活動方針

(1) 製品設計 WG (WG1)

松山幹事より、資料 1-5 に基づき製品設計 WG の活動方針が説明された。

- 1) 初年度は製品の分類や設計法の整理などを実施し、次年度は性能照査型設計への移行の課題検討などを実施する予定である。
- 2) 製品設計マニュアルや製品製造マニュアルの整理、リサイクル材導入時の留意事項のまとめ、耐用年数による分類などの要望があった。

3) リサイクル材導入時の設計は、オプションの一つとして位置づけることが提案された。

(2) 構造物評価 WG (WG2)

石川幹事より、資料 1-6、資料 1-7 に基づき構造物評価 WG の活動方針が説明された。

- 1) WG2 では、土木学会 314 委員会での課題検討や継ぎ手形状の種類と性能評価などを実施する予定である。
- 2) 出荷までが WG1 の範囲であり、それ以降が WG2 の範囲であることが確認された。そのため、PCa 製品の運搬や据付は WG2 に含まれる。

5. その他の情報

(1) ガイドライン試案の活用

北辻委員より、旧委員会で作成した再生骨材 M とフライアッシュのガイドライン試案について、東北地方整備局と共同でフィールド展開を図ることが報告された。本委員会に逐次報告するとともに、協力要請の可能性があるとのことであった。

(2) PCa 製品の補修・補強事例

久田委員長より、JIS 桁などの PCa 製品の補修・補強事例について情報提示の依頼があった。

6. 今後の予定

今後の予定は、以下の通りである。

- 1) 全体委員会は、2～3ヶ月に1回実施する。
- 2) 第2回全体委員会 : 9月29日(火) 14:00～17:00
- 3) WG1 : 8月25日(火) 14:00～17:00
- 4) WG2 : 後日、調整し連絡する

以上